

(様式2)

## 学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和特別支援学校（聴覚障がい部門・肢体不自由部門）  
学校番号 (53)

評価実施日		令和7年2月6日（木）					
委員	氏名	所属等	備考	委員	氏名	所属等	備考
	高橋 信雄	学校評議員			兵頭 政則	P T A 会長	肢体不自由部門
渡邊 展也	学校評議員		宮本 真紀	P T A 副会長	肢体不自由部門		
上中 保博	学校評議員		名本 美和	P T A 会長	知的障がい部門		
岩瀬 憲治	学校評議員		梅田 智子	P T A 副会長	知的障がい部門		
黒田 道代	学校評議員		岩村沙也加	P T A 副会長	知的障がい部門		
楠 しのぶ	P T A 会長	聴覚障がい部門	竹内千恵美	P T A 副会長	知的障がい部門		
正岡 照世	P T A 副会長	聴覚障がい部門					

評価・提言等	提言に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>1 学習指導 自己を肯定する姿勢の育成を基盤としつつ、社会性をはぐくみ、他とつながっていく力を伸ばしていこうとする教育の方向性が感じ取れる。無理のない範囲で、季節に応じた単元の設定や昔ながらの行事などを実施している。ハロウィンや文化祭では、校長先生やP T Aが仮装をし、児童生徒が楽しめるように工夫をしてくださり、ありがたい。</p> <p>2 生徒指導 体育的活動、文化的活動は大変よく頑張っている。児童生徒の個々に応じた領域を更に広げていけると、より豊かな未来が開けると感じている。 居住地校交流については、中学部の交流への参加率が少し低いので、充実をしていただきたい。地域とのつながりを大切にし、交流を含め、経験したことからの子どもたちの学びを、今後も大切にしてほしい。</p> <p>3 進路指導 卒業後の行政との協力体制や引継ぎを更に進めてほしい。中途退職が気になっている。就職・福祉サービス事業所の利用等にかかわらず、卒業後も行政を含めて定期的にフォローできる体制を更に推し進めてほしい。 産業現場等における実習について、個々に応じた技能の拡張・育成が大切である。得意なことや持っている技能を生かした現場実習先の開拓等をお願いしたい。</p> <p>4 センターの機能 南予唯一の特別支援学校として、地域の学校に対する相談支援や研修支援などを行い、センター的機能を果たしている。コーディネーターの先生方を中心に、市町の特別支援学級の先生方に対して、知識やスキル、経験を伝え、協働できるとよい。 通級指導教室は貴重な存在である。希望者を増やし、必要であれば「サテライト型指導教室」の開設を</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後も本校が掲げる教育目標達成のために、グレードアップ・ポリシーの充実を図るため、工夫をこらした教育活動に取り組んでいきたい。特に、本校が受託をしている文化庁の事業が最終年を迎える。コミュニケーション力や挑戦力の向上を目指し、三部門が協力して事業を行い、盛り上げていきたい。</li><li>・今年度も多数の表彰をいただいた。引き続き県の障がい者スポーツ大会や高文祭への積極的な参加を促すとともに、各種検定や各主催団体への作品応募に取り組んでいきたい。居住地校交流については、その意義を踏まえ、保護者への啓発等を行っていきたい。</li><li>・進路課員を中心に、相談支援専門員等と連携を図り、卒業後3年間は、アフターフォローを行っている。今後は、行政ともさらに連携を取りながら、定期的に卒業生を巡回し、支援を行ってきたい。</li><li>・インターンシップや現場実習については、生徒の実態把握を基に、生徒や保護者の思いを踏まえ、事業所等とのマッチングを丁寧に進めている。今後も進路先の開拓を進めていきたい。</li><li>・センター的機能の充実については、南予地域のすべての市町において、教育相談等を行っている。また、市町の研修会等に本校教職員が積極的に参加し情報交換等を行ったり、本校主催の研修会等に案内をしたりしている。</li><li>・通級指導教室については、その意義等も充分認識しているところであり、「サテライト型指導教</li></ul>

<p>考えてはどうか。また、これからの時代は、「共生社会への理解啓発」が大切であると考え。</p> <p>5 研修  児童生徒にあった授業や生活、また、障がいについて、より理解が進むように、外部講師の公演会などを開いていただき、勉強になった。今後もぜひお願いしたい。その際、ZOOM等による研修の活用も増やしていけると良い。また、生成AIに代表されるようなICT面での研修の機会が増加することを望む。</p> <p>6 学校安全  防災では、ショート避難訓練や予告なしの避難訓練を行うなど、工夫をして対応をしている。実際に保存食を食べるとか、児童生徒の食べられるものを把握することも防災につながると考える。引き続き充実をしてほしい。</p> <p>6 働き方改革  児童生徒一人一人を手厚く指導していただいていることに感謝をしているが、その分教員の負担がとても大きいと感じている。運動会や文化祭などの行事のときに、PTAも協力していきたい。</p>	<p>室」についても、県教育委員会と情報を共有していきたい。</p> <p>・研修の充実により学びを深めることは、我々教職員の使命であり、専門性の維持・向上の観点からも、積極的に取り組んでいく。特に、児童生徒が主体的に学べる教材研究やICT研修、研究授業等の充実を図っていきたい。</p> <p>・ショート避難訓練については、実施後のアンケートも好評であった。引き続き、想定外の事象を盛り込んだ訓練を実施したい。また、保存食については試食も含め、家庭と連携した取り組みを行いたい。</p> <p>・本校は、少人数制の良さを生かし、一人一人に向き合い、丁寧な支援を行っている。先生方の御負担も大きいですが、定期的な面談等を通して、円滑な学校運営に生かしている。PTAの皆様御協力もいただきながら、引き続き働き方改革にも取り組んでいきたい。</p>
--	--